

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	タイボランティア実習
-----	------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	3000 円	アイスやジュースを何度が購入しました。
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	4000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 分)
教養娯楽費	50000 円	オプションツアー代(約45000円) お土産(約5000円)
被服費	10000 円	活動に適した服を何着か購入しました。
雑費	0 円	
その他	48000 円	例: 狂犬病ワクチン
合計	115000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 日本に在る間にオンラインで七万円ほど両替して持っていました。 その他用意したもの: ☐ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください 私は現地で現金しか使いませんでした。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、Wifi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 トリファの eSIM を利用しました。操作も簡単で使いやすかったです。2 週間で 10GB のプランにしましたが、宿泊先には Wifi があるので余裕を持って使うことができました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか 村にホームステイをする際は、手を洗うための石鹸が用意されていないことがほとんどなので、手を洗うための石鹸を持っていって、もしくはボディソープを多めに持っていくことを推奨します。 また、タイは非常に日差しが強いため、キャップタイプの帽子ではなく、麦わら帽子のような形状の日除けに特化した帽子を持っていこうと思います。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ 基本的に常に現地のスタッフの方がついてくださるので、危険を感じる瞬間はありませんでした。村にホームステイに行く際は部屋に鍵をかけられない場合もあるため、南京錠を持っていって行くことを推奨します。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 宿泊先ではWifiが使える、村にホームステイをする際も電波は通じたので、通信に関して困ることはありませんでした。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類 ☒ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	2) 部屋の形態 ☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 5 人)
3) 共有部分	

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☐自炊可 ☒自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

水シャワーは、タイは暖かいので全然問題ないです、すぐに慣れます。
トイレトペーパーは持参しましょう、3ロールくらいあれば安心です。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

タイでの二週間は毎日が新鮮で、本当に楽しかったです。村で道路工事をしたときは、標高が高く日差しの強いところでの作業だったので体力的にきつと感じることもありましたが、仲間と声を掛け合って運動会みたいな楽しさがありました。全体的にスケジュールがタイトなので、ゆっくりと過ごしたいという方には向かないかもしれませんが、早寝早起きをして毎日色んな活動に取り組んでいく日々に、個人的にはとてもわくわくしました。

2)課外プログラムについて

チェンライでは、主に現地の小学校に行って子供たちに日本の文化を教えるという活動をしました。村でのホームステイでは、アカ族の村に行って道路工事のお手伝いをしたり、村人と一緒に魚を捕りに行ったりしました。観光では寺院を訪れる機会が非常に多かったです。タイの寺院はどこもゴージャスで日本の寺院とは雰囲気異なるので興味深かったです。

3)現地での生活に関すること

食に関する心配は大きかったのですが、タイで食べた料理はどれも本当においしかったです。というより、現地のスタッフの方々が日々美味しいご飯を提供してくれて、美味しいお店に連れて行ってくれました。辛い食べ物は多かったですが、苦手ということを伝えれば辛いものも提供してくれます。初めて出会う食べ物もたくさんありましたが、勇気を出して食べてみるととってもおいしかったりするので、なんでも挑戦してみるとよいと思います。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

小学校を訪れた際は子供たちとたくさん関わりました。簡単な日本語を教えたり折り紙を教えたりしました。また、宿泊先にインターン生として来ていたタイ人の大学生は、ほとんど一緒に活動して生活を共にし、たわいもない話をたくさんしました。年代も同じくらいなのですぐに仲良くなれると思います。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

村にホームステイをした際は比較的自由な時間が多かったので、その時間に公園で村の子供達と遊びました。会話という会話はできないのですが、一緒にサッカーをしたり、遊具で遊んだり、近くにいただけでキャッキャ言ってくれてとても可愛かったです。ホームステイ先のアカ族のファミリーとはあまり会話ができなかったのですが、重要なことはジェスチャーでびっくりするくらい上手く伝わりました。上手く喋れなくても、とにかく笑顔を保つことが何より大切です。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

タイに到着してまず驚いたのはバイクの多さです。そしてみんな二人乗り。三人乗りや多くて四人乗りをして平気で道路を走っているバイクがたくさんあります。宿泊先が田舎だったことも関係しているとは思いますが、レストランや学校が開放的で、扉が少なく道路と繋がっているような構造なのは新鮮でした。あとはとにかく犬だらけです。なるべく犬に近づかないようにしようと心に決めてタイに行きましたが、そんなこと言われてられないくらいそこら中に犬がいます。でも、ほとんどの犬が狂犬病注射をしているようで、そこまで恐れなくても大丈夫かとは思いますが。鶏もそこら中にいます。村に行くと特に朝の 3 時とかでも鶏が鳴いています、結構うるさいです。村に行くと、ここには書ききれないほど異文化だらけです。同じアジアでもこんなに違うのかと毎日ワクワクしていました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私は数あるプログラムの中でこのタイボランティア実習を選択したことを心から良かったと思っています。ヨーロッパに行って素敵な街並みを見る、アメリカに行って英語に触れる、どれも歳をとってから一人ではできないかと思ってしまいます。この実習では、外国の小学生と交流したり、外国で道路を作ったり、山岳民族の村にホームステイしてみたりと、一人で観光をするだけではできないような経験がたくさんできます。そして出会う人たちがみんな温かくて、一緒にプログラムに参加した仲間達や現地の人々とお別れするときは、涙を流す人が大勢いました。それくらい楽しくて、あっという間の 2 週間です。参加すれば、一生の思い出になること間違いなしです。ぜひみなさんにもこの経験をしてほしいと率直に思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	タイボランティア実習
-----	------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	3000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	5000 円	
雑費	5000 円	
その他	50000 円	例: ツアー代
合計	68000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
現金支払いがメインです。100パーツと 50 パーツを多めに持つといたほうが便利です。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM です。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
のど飴、酔い止め、ウェットティッシュ。
車での移動時間が長く、整備されていない道も通るため酔いやすい方は酔い止め必須です。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
事前学習の動画の視聴。バッグに南京錠を施錠。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
Sharing では Wi-Fi 使用可。ホームステイ先の村では、Wi-Fi なし。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル ☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 3 人)

3) 共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
基本 22:00 に消灯。朝は 7:30 から活動開始。水シャワーだが、日没前に入るためあまり苦ではない。 基本的に集団で行動する。自由時間に個人での散策可。 日焼けと虫対策のため、下は長ズボン必須。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
小学校での活動 現地の小学生と日本語とタイ語を通して関わる事ができた。 道路づくり 村人と共同で作業し、より親密になれた。
2)課外プログラムについて
2 つのオプションツアーに応募しました。 象に乗るツアーとタイ王家開発ツアーです。 2 つとも価値ある体験でした。
3)現地での生活に関すること
日本での生活とは全く違いましたが、日本ではできない自然体験を二週間経験することができました。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
現地の小学校や、村人たちとの日本のゲームや遊び。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
日本とは違い、近所との関係が親密であり、皆で生きているイメージ。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

まず、このプログラムに申し込んだことに対して一切の後悔はありません。 日本とは、あまりに生活が違い初め戸惑いましたが、それ以上にいい経験ができました。 小学生との交流、ホームステイ先の村人との交流をはじめ日本にいれば決して関わる事のできない人々と関り、一緒に遊び、一緒にのテーブルでご飯を食べ、かけがえのない二週間を過ごすことができました。 また、市場やツアー先でも刺激的なモノに出会い、私の価値観を変えました。素晴らしい仲間とも出会い、生涯忘れることがない思い出を作ることができました。 もし、応募するか迷っている方がいれば、ぜひ申し込んで有意義な春休みにしましょう。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	海外ボランティア実習(タイ・チェンライ)
-----	----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	2000 円	基本的には宿泊先が手配してくれるため、必要はないです。市場やナイトバザールに行く機会があります。そこで食べ歩きをする分だけの食費を準備すれば十分であると思います。
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1000 円	現地での電話番号は必要ないと思うので、格安 eSIM で十分です。
現地通学費	0 円	(研修先まで 0 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	1000 円	現地でタイパンツを買うことが出来ます。
雑費	1000 円	石鹸のような日用品は近くのセブンイレブンで買えます。
その他	50000 円	例:2日間ある自由行動ができる日のオプションツアー代
合計	55000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 新宿の外貨両替インターバンクで両替しました。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードは使えないことが多々あるため、保険のためにという心構えで持っておくことをお勧めします。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
主な宿泊先であるSharing はWi-Fiがありました。空港や村、外出中にスマホを使いたい場合などがあると思います。電話番号無しの格安 eSIM で十分だと思います。私は kkday というサイトで購入しました。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
虫よけは現地のコンビニにも売っていますが、匂いが強いので、日本から持っていくことをお勧めします。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり(問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
外務省のホームページにて確認しました。現金を複数に分けて、持ち歩きます。
犯罪に巻き込まれそうになったことはありませんでした。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
山岳部や国境付近では電波が繋がりません。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 ☒ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態 ☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 3~5人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
滞在先や村はすべて水シャワーです。 Sharing(チェンライでの滞在先)には2匹の犬、村に無数の犬と鶏(たまに猫も)がいるため、アレルギーもちの人は注意した方が 良いと思います。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
タイ人インターン生や日本語を話すことの出来る現地の人がいるため、言語の不安が全くないところは安心です。 初めての海外にはびっくりだと思います。
2)課外プログラムについて
地元の小学校や山岳民族の方々が生活している村にホームステイします。日本では体験することの出来ない経験ができます。 言語の壁を越えた異文化交流をすることで、普段は気が付かないような発見をすることが出来ます。 医療をまともに受けられていない子供や国籍のない子供と接することで、いかに自分たちが恵まれているか、国際協力の必要性を 感じ、考えることができます。
3)現地での生活に関すること
動物アレルギーをもっている人をやめた方がいいかなと感じました。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
Sharing で働いているタイ人インターン生と日本語での交流をすることが出来ます。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
大学に行くような研修ではないため、特にないです。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
文化や価値観が異なると感じました。 タイ北部の山岳民族の村にホームステイをすることが出来るため、肌で山岳民族の問題点、国際協力を考え学ぶことが出来ま す。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この研修はタイにある大学で授業を受けるような語学留学ではありません。タイにある小学校で国際交流をします。また、山岳民族 の生活している村にホームステイさせてもらい、村の生活を体験し、村全体が抱えている問題と向き合うことを目的としているボラン ティア研修です。ホテル暮らしをするわけではないため、日本の暮らしとは異なり、不便なことが多くあります。しかし、そこで生活を している現地の人とともに暮らすことで、日本では見ることが出来なかった新たな視野を増やすことが出来ます。この研修には手厚 いサポートがあるため、初めて海外に挑戦してみたい人や語学留学ではなく、文化を学びたい人向けの研修であると思います。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	海外ボランティア実習(タイ・チェンライ)
-----	----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	0 円	留学費用に含まれている。
図書費・学用品費	0 円	ボランティア実習のため、学用品等を買う必要はなかった。
携帯・インターネット費	11,390 円	eSIM 代。トリファ、2 週間、無制限。
現地通学費	0 円	(研修先まで 小学校:30 分程度 山岳民族の村:1 時間半程度)
教養娯楽費	0 円	
被服費	15,000 円	研修先にて使用する長ズボン数枚、下着類など。
雑費	0 円	
その他	65,000 円	例: ツアー代:約45,000円 お小遣い:約 20,000 円
合計	521,390 円	+留学費用(学校:提携会社支払い):約 43 万円

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本の通貨両替場で両替。
その他用意したもの: ☐ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
屋台での買い物が多いため、現金。デビットカードも持って行ったが使用しなかった。ただ、万が一医療機関などにかかることがあればカードがあると安心だと思う。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
トリファ 説明が丁寧なため、比較的設定が簡単だと感じた。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ハンドソープ、首まで覆う布がついている帽子

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
明大サポートが配信している防犯対策動画、外務省が配信している防犯対策動画の視聴。旅レジの登録。
現地では、ハンドバックを常に自分の身体の前で持ったり、カバンに南京錠をつけたたりした。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ほとんど問題はなかった。山岳民族の村でも、電波が通っていたため通信に支障はなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 ☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態 ☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 5 人)

3) 共有部分 ☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
2 週間のうち、1 週間と数日を日本人留学生のためのSharingという施設で、残りの期間で山岳民族の村の家庭でホームステイをした。特に不自由はなかったが、村に行った際はハンドソープ、ティッシュ状のトイレトペーパーが役に立った。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
良かったこと:ボランティアの内容が1つに限られていなかったため、様々な人と交流できた点。また、留学中滞在した Sharing という施設を運営しているご夫婦の理念を通して、国際交流とは何か学ぶことが出来た点、観光も十分に出来た点。 良くなかった点:特になし。
2)課外プログラムについて
日本語が話せる Sharing スタッフまたは英語が話せる現地のガイドさんが必ず同行してくれたため、買い物や街・村人との交流で困ることはあまりなかった。 山岳民族の村で約1週間ホームステイした際、英語はほとんど通じないものの、ステイ先のご家庭は簡単なタイ語、民族語、ジェスチャーで話しかけてくださったため充実した交流が出来た。
3)現地での生活に関すること
日本との差が特に大きいと感じたのは衛生面だった。基本的に現地の文化を尊重することを心がけたが、いきなり生活スタイルを全て現地の人に合わせると体調を崩す可能性があるため、ハンドソープを持っていくなどある程度自分で対策すべきだと思う。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
ボランティア活動の一環として小学校を訪問し、子どもたちと交流した。日本語や日本文化を教えたり、彼らとともに身体を動かして遊んだりした。 また、山岳民族の村では村人たちとともに道路を作ったり、村の子どもたちと遊んだりした。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
観光も兼ねてナイトマーケットや市場を訪れた。その際、知っている日本語を使って話しかけてくれたり、英語で丁寧に説明してくれた店員さんがいた。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
日本でも地域間の差はあると思うが、チェンライでは隣人同士親しげだったり、近所の人達を集めてパーティーをしたりと地域内での交流が活発だったのが印象的だった。村でも、家で一緒に裁縫をしたり、みんなで集まって話したりしていてご近所同士親しげだった。 また、市場やナイトマーケットで売られていたものは日本にはないもの・日本のものとは見た目が違ったり調理方法が異なるものが多く、物珍しさから印象に残った。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

タイのチェンライでは、日本語はもちろん英語もあまり通じないため、活動前はうまくいか不安だった。しかし、お互いに母国の言語を教えあったり、ジェスチャーを使ったりして会話することが出来た。Sharing のスタッフさんに助けってもらいながら、試行錯誤して何とかコミュニケーションをとった経験は国際交流を学ぶ上で非常に大切なことだったと感じている。 最初は文化の違いに戸惑うこともあったが、どうしてそのような文化が生まれたのか知ると抵抗感もなくなった。他国の文化を尊重するまでの過程を理解できたことは、今後の自分の価値観に大きく影響すると思う。この体験を今後様々な交流の場で活かしていきたい。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	海外ボランティア実習(タイ・チェンライ)研修
-----	------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	0 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3500 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	40000 円	オプションツアー代(なお、ツアーの際の食費もこの中に含まれる)
その他	10000 円	例:お土産や寺院の入場料
合計	53500 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 新宿で換金した その他用意したもの: ☐ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください 現金が一番使いやすかった。よく行く市場では、基本クレジットカードは使えなかったため、カードよりかは多めの現金を持って行った方がいいと思う。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 Trifa 前日にうまく設定がいかず混乱してしまったが、オンラインサポートの対応が良く、期間中は問題なく利用することができた。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか 飛行機であまり寝ることができなかったため睡眠薬とかを持っていた方が良かったなと思った。 逆ではあるが、二月のタイはとても暑かったので、長袖はそんなにはいらなかった。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: 現地のスタッフの皆さん) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか? インターネット等で情報を収集し、南京錠や鍵などを利用した。 犯罪には巻き込まれていない。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 普通に使えた。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類 ☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	2) 部屋の形態 ☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 3 人)
3) 共有部分 ☐ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
冷水シャワーしかないけどなんやかんや耐えるので怖がらず頑張ってください。 村のトイレ、シャワーは驚きがいっぱいなので、心の準備をしっかりすることをお勧めします。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
よかった点 現地スタッフがずっとついて回ってくれるので言語面での不自由さを感じるタイミングが少ない。 ごはんがおいしい。 日本じゃ経験できないような貴重な体験を色々させてもらえる。 スタッフの方がみんな優しい。 良くなかった点 朝ごはんから次のプログラムまでの移行時間が 20 分
2)課外プログラムについて
オプションツアーについて 像使いと、タイ王家のフラワーガーデンに参加した。 どちらもとても楽しかったが水不足の影響で温泉に入れなかったのが残念だった。 あと像使いのプログラムでは予想外のフィッシングが突然始まり、非常にタイの国民性を感じた。 ただ、オプションツアーに参加しない日を作り、自由にタイを観光できる日も作ればよかったなと思っている。 フルでタイマッサージを受けてみたかった。
3)現地での生活に関すること
非常に自由。 プログラムは決まっているが内容は学生が主体的に決めていくものであり、自分たちの好きなように活動することができる。 自由時間では、洗濯をしたり、シャワーを浴びたりすることができる。 手洗いの洗濯は自分が思っているより時間がかかる。 洗濯機をみんなで割り勘して使うのも結構アリだった。 余った自由時間ではみんなで UNO やジェンガ(シェアリングにある)で遊び、親交を深めた。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
タイの大学に通っているインターン生二名と交流した。 学校ボランティアの際に通訳として活動を手伝ってもらった。 村での活動の際も、通訳として色んな手伝いをしてもらった。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
トランプやジェンガなど、一緒に遊んだり、色んなお話をしたりした。 日本のアニメ文化や、普段の日常の話など、ほぼ友達のように接することができ、とても楽しかった。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
移動手段が基本車の荷台であること。 最初は振り落とされるのではないかと皆怖がっていたが、三日目ぐらいから慣れ始め、最終日に乗った一般的な車が閉鎖的で大きな違和感を感じた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

今回自分はこのプログラムに参加する中で、異文化体験だけではなく、日常のストレスから解放されるような体験も多くすることができました。

本当に刺激的な日々で、人生の中で一番濃い二週間でした。

このプログラムに参加するか迷っている人がいるなら、参加することを強くおすすめします。

教科書だけでは学べないような世界を体験できるはずですよ！！実際に体験した人が言っているから間違いないです。

アドバイスを挙げるなら、BigC でカルボナーラと唐辛子を食べないようにすること、辛い物を食べ過ぎないこと、生水を飲まないこと、積極的に自分から行動を起こすこと、楽しむ気持ちを常に忘れないことぐらいです。

日本とは大きく環境が異なるタイで二週間も生活することは本当に怖いことで相当な覚悟も必要だと思います。

でも、そんな不自由な環境の中にある自由を体験することは、自分を大きく成長させてくれるきっかけになると強く思います。

ぜひ、参加してみてください！

コップンカップ！！